



話題・情報は企画課へ
お寄せください。



まちの話題

おめでとーございませ 百歳を迎えられました

町では、満百歳を迎えられた方をお祝いする長寿表彰を行っています。

このたび、林八重子さん(下野)と蓮佛美智子さん(国中)が3月6日に、満百歳を迎えられ、町長から寿詞などが贈呈されました。

これからもお元気にお過ごしください。



満百歳を迎えられた蓮佛美智子さん



満百歳を迎えられた林八重子さん

災害時の強い味方に

ドローン協定で防災力向上へ

4月2日(水)、八頭町と産業用ドローンの開発・運用を手がける株式会社ACSLが、災害時の支援活動などに関する協定を締結しました。

締結式では、ACSLの鷲谷代表取締役が「災害時にドローンで被害状況の確認や物資輸送など、最新技術を活かした支援ができる」と考えた。災害支援は、起きてからではなく、平時からの備えが重要。今後は防災教育などを通じて広く連携していきたいと話しました。

ドローンの活用は、迅速で的確な災害対応に役立つとされており、今回の協定により、町の防災体制のさらなる強化が期待されます。



協定書を掲げる株ACSL 鷲谷代表取締役(左)と吉田英人八頭町長

春風に誘われて

白兔伝説の地を歩く「桜ウォーク」

3月29日(土)、春の訪れを感じながら八頭町の歴史と自然に親しむウォーキングイベント「川辺の道 桜ウォーク」が、八頭町観光協会の主催で開催されました。

当日は町内外から集まった25名の参加者が、白兔伝説ゆかりの地を巡る約11キロのコースを、白兔伝説ガイドの案内で歩きました。土師百井廃寺跡や福本白兔神社、成田山青龍寺など歴史あるスポットを訪ねながら、春の風景とともに八頭の魅力を満喫しました。

途中、米岡神社では米岡神社麒麟獅子舞保存会による迫力ある獅子舞の披露もあり、頭をかんでもらって無病息災を願う参加者もいました。



獅子に頭をかんでもらう参加者

八頭町消防団任命式

八頭町消防団の任期満了に伴う任命式を役場本庁舎で開催しました。式には新たに就任した徳田秀行団長をはじめ、分団長以上の役員が出席し、120名の消防団員の辞令書が交付されました。

分団長以上の役員は次のとおりです。(敬称略)

全 域	八東地域			船岡地域		郡家地域			本 部					階 級	氏 名	
	女性消防 役員分団	第3分団	第2分団	第1分団	第2分団	第1分団	第3分団	第2分団	第1分団	副 団 長			団 長			
	中村真由美	安藤 稜	木原 康志	坂本 寿裕	富士原晴樹	大西 洋樹	佐々木一幸	中村 裕司	山形 孝史	山崎 将史	山根 浩昭	森脇 祐治	鎌谷 正美	竹本 一史	上原 章義	徳田 秀行



辞令書の交付を受ける消防団員

きんぐらり やずとくとく

まちで輝く人や、魅力あふれる場所・ものを紹介するコーナーです。2カ月に1回掲載します。

「やずとくとく」には、「知(ち)く(く)行(い)つとく」「や(や)とくとく」などの意味と、知るとちよつと得する」という想いを込めました。八頭町の素敵な魅力、あなたもやずとくとくしませんか？

江戸時代に鳥取藩の御用を務めた由緒ある窯元である因久山焼の第10代目として日々作陶に従事されている芦澤 保憲さん(八頭町久能寺)。伝統的な焼成法「登り窯」や因久山の名は窯の所在地である因幡国久能寺が由来とされており、わら灰などの釉薬(ゆうやく)を使い、伝統的な素朴な美の中にも格調漂う独特の味わいが多い人々に愛されつづけています。

今年3月に鳥取県伝統工芸士に認定されたことを受け、お話を伺ってきました。

今回の認定を受けて

「びっくりしているが、光栄なこと。名前負けしないように今後も

いい作品が作れるよう励みたい」
これまでの創作活動で
印象に残っていること

予想以上のものが焼きあがった時はとてもうれしく思う。ただ、それは10年に1回あるかないか。
今後の展望について

伝統の釉薬(ゆうやく)を極め、代表作となるようないい作品を作り上げたい。

八頭町を代表する伝統工芸品である因久山焼の作品は、近隣の道の駅や窯に隣接する展示室でご覧いただけます。

次の10年、20年へとつながる「代表作」を目指し、今日も静かに作品と向き合う芦澤さん。

受け継がれる伝統と、新たな挑戦の物語を、あなたもやずとくとくしてみませんか？



自身の作品の前で認定証を手にする芦澤さん